

## 電波時計 (文字板面照明付掛時計) 取扱説明書

取扱説明書番号 M313-CXXX

### ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 暗くなると文字板面を照ります
- 暗くなると秒針が12時位置に停止します

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

### 発売元 リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

#### ●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

#### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

#### ●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してある製品番号（型番）をお伝えください。例. 4MYA〇〇

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。


(Y0905)


## 安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）


ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。


### ■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区別して説明しています。

 この表示は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。


 この表示は、してはいけない「禁止」内容です。


 この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

 この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。


### ■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

### ■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。  
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

## おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃	標準電波	受信局自動切替 福島局 40kHz/九州局 60kHz
時間精度	表示精度 標準電波受信直後 秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して ±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒(常温中のクォーツ精度)	電波受信機能 ON/OFF 切替 標準電波強制受信操作	電波受信結果の表示
使用電池	単2形アルカリ乾電池 (JIS LR14)	自動受信 1日7回 電波受信スイッチ ON のとき 受信開始時刻	2時16分40秒 3時16分40秒 6時16分40秒 10時16分40秒 14時16分40秒 18時16分40秒 22時16分40秒
電池寿命	約1年 照明:1日7時間 明るさ「強」で使用 明暗センサーにより1日7時間秒針が12時位置に停止しているとき	※つぎの受信時刻では、秒針が12時位置に停止します。	2時16分40秒 3時16分40秒 6時16分40秒
文字板面照明	明るさ2段階「強」「弱」	付属品	
明暗センサー	暗くなると秒針が12時位置で停止 文字板面照明に連動	単2形アルカリ乾電池 2個 木ねじ 1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚	
電池交換時期お知らせ機能	秒針を12時位置に停止		
■製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。			

## 電波時計について

### 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

### 標準電波の送信停止について

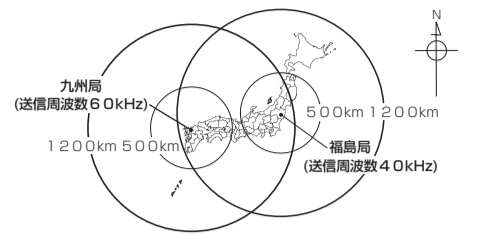
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときは、電波受信スイッチをOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

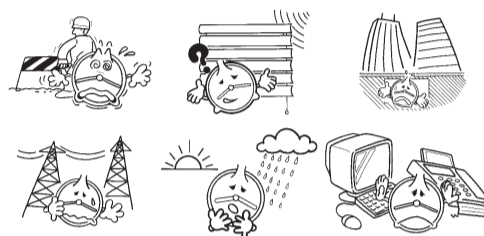


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

## 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近くビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く、スチール机等の金属製家具の上や近く



## 電池のご注意（電池の正しい使い方）

### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう


- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かないところに置く。

### 電池の種類について


- 本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。ⓧ アルカリとマンガン乾電池の混使用は液もれの原因となりますのでおやめください。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。（例：Panasonic オキシライド乾電池）


### 取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

-  ●電池に傷をつけたり、分解しない。
- 電池を充電しない。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池をショートさせない。
- 時計を使用しないときは電池を取り外す。

### 液もれが起きてしまったとき

 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。


 もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

### 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きした電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

### 電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定にしたがってください。

 火に入れると破裂の原因となり危険です。

## お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けした壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

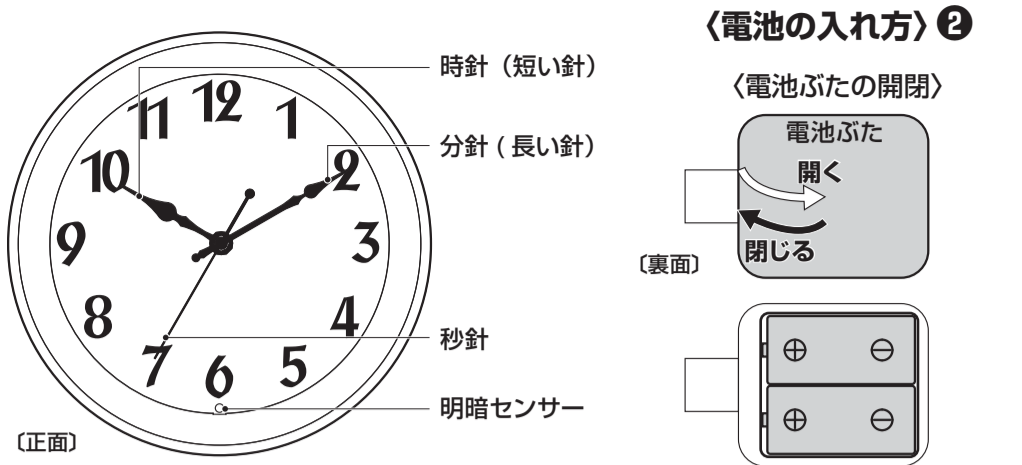
## 時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定にしたがってください。

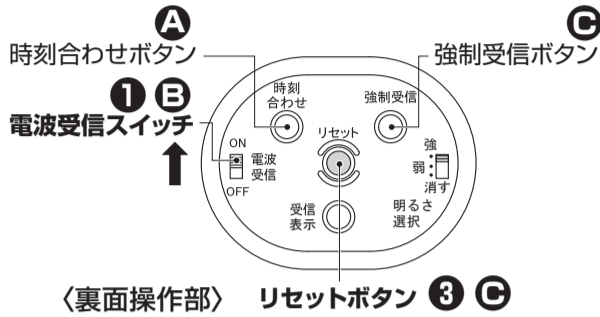
この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

図は操作説明用ですので、実際と異なることがあります。



針の動き  
通常の時刻表示  
時針-分針:10秒に1回動きます。  
秒針 :1秒ステップで動きます。  
※自動受信では、秒針が12時位置に停止することがあります。  
「おもな製品仕様」を参照。  
※自動受信で時刻を修正するときに、早送り移動することがあります。



## 標準電波—受信の流れ（受信結果の確認方法）

リセットボタンを押すと、針が12時に移動。移動後に受信を開始する。受信中は12時に止まったままです。

受信中は電波の状態により変化します。  
点滅は1秒間隔。  
消灯：電波状態が悪い  
点滅：電波状態が良い

**アドバイス**  
時計を掛ける前に、点滅していることを確認しましょう。消灯しているときは、場所を移動させてください。

受信が終わると早送りで針が動き、時刻を示します。受信が終わると受信表示ランプは消灯します。裏面の受信表示ランプで受信の成功・失敗を確認できます。

〈受信結果の確認方法〉

強制受信ボタンを押してすぐ離す

受信表示ランプの点滅で結果を確認  
消灯：受信失敗  
3回点滅：受信成功 福島局受信  
6回点滅：受信成功 九州局受信

○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてリセットボタンを押してください。

○受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正しくありません。

○電波受信スイッチがOFFのときは、受信表示ランプは点滅しません。

## A 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
  - 場所を変える／受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、リセットボタンを押して再度受信を行ってください。
- 受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。**

### ■ 手動時刻合わせ

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。標準電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

時刻合わせボタンを約3秒間押し続けると時刻合わせモードになります。

- 時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます。
- 時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。
- Ⓧボタン操作をしていないのに針が早送りしているときは手動で時刻合わせができません。
- 時刻合わせボタンを6秒間操作しないと時刻合わせモードを終了します。

秒針の動きについて  
時刻合わせボタンが押されている間は停止します。

- 電波受信スイッチがONの場合、手動で時刻を合わせても受信に成功すると自動修正します。

## B 標準電波受信機能のON/OFF

標準電波機能を OFF するには（標準電波を受信しない）  
電波受信スイッチをOFF側にしてください。標準電波を受信しにくい場所やノイズにより誤表示するときに電波受信スイッチをOFFにして、手動で時刻を合わせてください。

標準電波機能を ON するには（標準電波の受信を開始する）  
電波受信スイッチを ON 側に、リセットボタンを押してください。

## C リセットボタンと強制受信ボタン

**リセットボタン**  
電池を入れた直後に押します。リセットボタンを押すと、12時00分00秒に設定され、針が12時に移動します。電波受信スイッチがONのときは受信を開始し、OFFのときは、移動後、そのまま時を刻み始めます。

**強制受信ボタン**  
場所を移動したときなどに強制受信ボタンを約3秒間押し続けると、12時に針が移動してから受信を開始します。受信に失敗しても時刻を継続して表示します。  
つぎのようなときは強制受信ボタンを押しても無効です。

- 電波受信スイッチが「OFF」のとき
- 手動で時刻を設定している最中
- 針が早送り移動しているときや受信しているとき

## 1. 使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を受信しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**標準電波を受信できない場合**の「手動時刻合わせ」を参照してください。

- 窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。
- ① 電波受信スイッチをONにする
- ② 電池を入れる  
電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れます。  
電池を逆に入れると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。
- ③ リセットボタンを押す  
針が早送りで12時位置に移動します。移動後に受信を開始します。  
※電池を入れた後は必ずリセットボタンを押してください。
- ④ 時計を掛ける  
**時計の掛け方**に従い、時計を確実に掛けてください。
- ⑤ 受信結果を確認する **標準電波-受信の流れ** 参照  
時計を外して確認してください。

## 時計の掛け方

- 掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
  - 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。
  - 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
  - ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

## 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

時計裏面 壁掛け穴 17mm

木の柱または木質の厚い壁面

引っかかっている ×  
引っかかっていない ○

## その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

## 2. 照明の使い方（暗くなると文字板面を照明する）

**明るさ選択スイッチ**

明暗センサーに連動して、暗くなると文字板を照明します。  
明るさ選択スイッチを設定してください。

- 強：最大の明るさで照明
- 弱：明るさを抑えた照明
- 消す：照明を使わない

**電波を受信している最中は、受信しやすくなるために消灯します。**

## ■ 明暗センサー（暗くなると眠る秒針、自動照明）

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針を12時位置で停止させ、明るさ選択スイッチが「強」または「弱」の場合は、照明を点灯させます。明るくなると現在時刻の秒位置に早送り移動し、照明を消灯します。

昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが動きます。

十分に明るいところで秒針が12時位置で停止している場合は、電池の交換時期です。

→ **電池の交換時期お知らせ機能** 参照。

## ■ 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、明るいところで秒針が12時位置に停止したままになります。明るいところで秒針が12時位置に停止したら速やかに新品の電池にすべて交換してください。

## ◆ 電池の交換

- 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。
- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
  - 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
  - 古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。
  - 電池の⊕⊖を逆に入れない。
- 注意**
- 
- 液もれだ!